事　務　連　絡
令和３年６月 14 日

都道府県
政令指定都市
中核市
保健所政令市
特別区
市町村

衛生主管部（局）御中
熱中症予防対策担当部局御中

厚生労働省健康局健康課
環境省大臣官房環境保健部環境安全課
環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室

ワクチン接種会場における熱中症対策の推進について

平素より新型コロナウイルス感染症への対応及び熱中症対策の推進につきましては格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新型コロナワクチン接種（以下「ワクチン接種」という。）については、現在、７月末を念頭に、希望する高齢者の接種が終了するよう御尽力いただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

今後、夏以降も引き続きワクチン接種のために、接種会場へ多くの高齢者を含む住民の方々が訪れることが予定されています。そのような中、熱中症は、例年、梅雨入り前の５月頃から発生し、暑さに慣れる前の梅雨明け後の７月下旬から８月上旬にかけて多発する傾向があります。特に高齢者は熱中症にかかりやすく、熱中症により亡くなられた方の約８割を占めます。

今後、夏を迎えて一層気温が上昇することや感染予防対策として定期的な換気を行うこと等に伴い、接種会場が暑くなることが想定されるとともに、マスク着用が徹底されていることが想定されることから、ワクチン接種を円滑に推進するためには、熱中症を適切に予防していくことが重要となります。そのため、今般、厚生労働省及び環境省においては、接種会場における熱中症予防のため、接種会場で取り組むべき事項の例を下記のとおり、取りまとめましたのでお知らせいたします。

つきましては、各会場において、ワクチン接種を担当する衛生主管部局と熱中症担当部局が連携し、各会場の状況を踏まえ、適切に熱中症予防に取り組んでいただきますようお願いいたします。

記

１．ワクチン接種会場の状況に応じて、以下の熱中症予防対策に取り組むことが考えられる。

（会場運営にあたっての熱中症予防対策）

・熱中症予防行動の呼びかけのための熱中症関係チラシ等の掲示や配布

・暑さ指数計の配備、暑さ指数の測定・掲示や暑さ指数に応じた熱中症予防対策の実施

・自動販売機等の飲料の確保、塩飴等の配布
・エアコン等が十分でない場合におけるスポットクーラー、扇風機等の配置、冷却剤の確保
・遮光カーテン、すだれ、向き合う窓を開けて風通しをよくする
・待機列に日陰などの涼しい場所の確保
・熱中症患者が発生した際に対応出来る医療体制の準備

等

（接種者への熱中症予防対策の呼びかけ）
・のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給する
・大量に発汗する状況では、経口補水液などで、塩分等も含めて補給する
・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する

等

２．その他、啓発等のチラシについては、以下を活用いただきたい。
〇熱中症警戒アラート発表時の予防行動（別紙１）
〇熱中症予防情報サイト　https://www.wbgt.env.go.jp/
※　暑さ指数や熱中症警戒アラートの情報や各種チラシのデータを確認できます。
〇熱中症環境保健マニュアル　https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php
※　一般的な熱中症対策を確認できます。
〇熱中症予防のために（別紙２）

《本件に関する照会先》
新型コロナワクチンの接種全般に関すること
都道府県からのお問い合わせについては、従前どおり自治体サポートチームにお願いいたします。

厚生労働省：熱中症対策、普及啓発資料に関すること
厚生労働省健康局健康課地域保健室　　猪狩、守川
電話　　03-3595-2190
メール　communityhealth@mhlw.go.jp

環境省：熱中症対策、普及啓発資料に関すること
環境省大臣官房環境保健部環境安全課　　中川、榊原
電話　　03-5521-8261
メール　netsu@env.go.jp
暑さ指数（WBGT）に関すること
環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室　笠井、大堀
電話　　03-5521-8300
メール　heat@env.go.jp

以上

別紙 1

熱中症警戒アラート

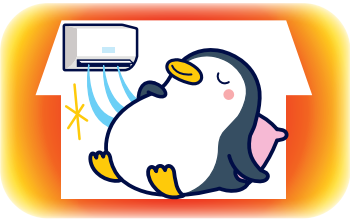
発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごと(※)に発表されます。
発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

※北海道、鹿児島、沖縄は府県予報区単位

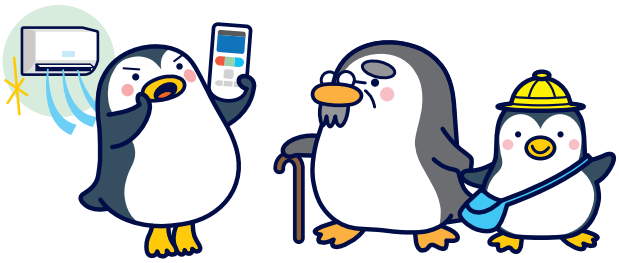
外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 昼夜を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



環境省　気象庁

より詳しい情報は…
環境省：https://www.wbgt.env.go.jp/
気象庁：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kurashi/netsu.html

環境省 熱中症 検索

熱中症警戒アラート 発表時の予防行動

普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。（1日あたり1.2Lが目安）
- 涼しい服装にしましょう。

- 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。

外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数（WBGT）に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。

暑さ指数（WBGT）を確認しましょう

- 身の回りの暑さ指数（WBGT）を行動の目安にしましょう。
- 暑さ指数は時間帯や場所によって大きく異なるため、身の回りの暑さ指数を環境省熱中症予防情報サイトや各現場で測定して確認しましょう。

※環境省熱中症予防情報サイト：https://www.wbgt.env.go.jp/

熱中症とは

熱中症とは、暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患です。誰でもなる可能性があり、運動中だけでなく、室内でも起こります。日頃からしっかり予防するようにしましょう。

暑さ指数（WBGT）とは

暑さ指数（WBGT）とは、気温、湿度、輻射熱（日差し等）からなる熱中症の危険性を示す指標で、「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階があります。段階ごとに熱中症を予防するための生活や運動の目安が示されていますので、日常生活の参考にしましょう。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友達追加はこちら ➡

別紙 2

熱中症予防のために

暑さを避ける

室内では・・・

- 扇風機やエアコンで温度を調節
- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- 室温をこまめに確認
- WBGT値※も参考に

屋外では・・・

- 日傘や帽子の着用
- 日陰の利用、こまめな休憩
- 天気のよい日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数
運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。
環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどの渇きを感じなくても、
こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状

○めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
○頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
重症になると、
○返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省　熱中症　検索

厚生労働省

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす

（特に、首の周り、脇の下、足の付け根など）

水分補給

水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

＜ご注意＞

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

高齢者や子ども、障害者・障害児は、特に注意が必要です

・熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。

・子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので、気を配る必要があります。

・のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給しましょう。暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください

気温や湿度の高い日には、無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使いましょう。

熱中症についての情報はこちら

▷ **厚生労働省**

熱中症関連情報［施策紹介、熱中症予防リーフレット、熱中症診療ガイドラインなど］
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/

「健康のため水を飲もう」推進運動
https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/

職場における労働衛生対策［熱中症予防対策］
https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei02.html

▷ **環境省**

熱中症予防情報［暑さ指数（WBGT）予報、熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレットなど］
http://www.wbgt.env.go.jp/

▷ **気象庁**

熱中症から身を守るために［気温の予測情報、天気予報など］
http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kurashi/netsu.html

異常天候早期警戒情報
http://www.jma.go.jp/jp/soukei/

▷ **消防庁**

熱中症情報［熱中症による救急搬送の状況など］
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html